

経済為替ニュース

SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED FX NEWS

第2174号

2013年08月12日（月曜日）

《 higher yen lower stock 》

先週のレポートで触れたオセアニア通貨などに対する円高現象が、対ドルや対ユーロなどに拡大した一週間でした。円高局面でも過去に見られた「一挙の円高」ではない。それは日本の貿易を取り巻く環境が以前とは全く違ったものになっている反映でしょう。過去の日本ではベースが貿易収支と経常収支のクロだった。しかし今の日本では貿易収支は常態的に「赤」です。しかしその中でジワジワと進む円高には、「限界があるだろう」と思いながらも、「展開が読めない」という印象もする。ただしオセアニア通貨に対する円高は、先週末の段階では一応止まった形となっているが、これらの通貨には「利下げ予想」がある。

全般的な円高進行の結果、東京市場の株式相場も先週は薄商いの中、大きな調整を迫られて株価は大きく反落した。調整色も強いが、どちらかと言えば「買い気不足」の印象がする。上値を追う理由を見つけるのに苦労する、という状況。街角景気の数字は4ヶ月も連続して下がっていて、6月までは好調だった消費にも息切れの気配が見える。今まで消費を引っ張ってきたのは「高額品の販売」だったが、考えてみれば高額時計をいくつも買う人はいない。とすれば日用品へのバトンタッチが必要だが、今の日本の景気はそれが出来ていない。

暑すぎて人が街に出てこないという展開とも考えられるが、株式市場的には「なぜこれから日本の株を買うのか」という理由の希薄さが顕著になりつつある。安倍首相は富士山麓で夏休み中でそれは良いことだが、日銀ともども「当面必要な手は打ち尽くした」感が漂う中で、「マーケットが次の展開」を期待せざるを得ない時期が接近しているような気がする。今週は夏休みが集中する時期とは言え、既に織り込んだ GDP 統計以外の日本の景況を示す数字には注意したい。

アメリカの市場も調整色を強めている。しかしその幅は先週一週間の合計でもごくわずかで、引き続き米マーケットは基調は強い印象がする。その理由は、今のアメリカのマーケットが絶妙なバランスに乗れているからだと思う。ちょっと懐かしい言葉で表現すればそれは「Goldilocks economy」である。「インフレが高まるほど熱すぎず、失業率が上昇するほど冷えすぎず」という「理想的な経済」を指す。

金融政策もその絶妙なバランスを崩さないよう、市場に配慮した運営が行われている。

つまり、今のニューヨーク市場の強さは基本的には「金融相場」の色彩が強いが、一方でインフレを懸念する必要がないなかで、住宅市場の改善や米企業の競争力向上を反映して、個々の企業の株価が上値を迫っている。アメリカ企業はその多くが、日本の企業よりもグローバルライゼーションにうまく乗っている。

今週もアメリカの景気に関する数字の発表は多い。おそらくそれは「強弱入り交じる」ものになるだろう。それが株式市場には居心地が良い可能性が高い。

今週の主な予定は以下の通り。

| | |
|-------------|---|
| 08月12日（月曜日） | 4～6月期 GDP 速報値 7月企業物価 7月マンション発売 7月工作機械受注 米7月財政収支 |
| 08月13日（火曜日） | 6月機械受注 金融政策決定会合の議事要旨(7/10・11分) ユーロ圏6月鉱工業生産 独8月ZEW景気予測指数 米7月輸出入物価指数 米7月小売売上高 米6月企業在庫 |
| 08月14日（水曜日） | 12日時点のレギュラーガソリン小売価格 ユーロ圏4～6月期 GDP 速報値 米7月卸売物価 |
| 08月15日（木曜日） | 米新規失業保険申請件数 米8月ニューヨーク連銀景気指 米7月消費者物価 米7月鉱工業生産 米8月フィラデルフィア連銀景気指数 |
| 08月16日（金曜日） | 米7月住宅着工 米8月ミシガン大学消費者態度指数速報値 |

《 have a nice week 》

週末はいかがでしたか。「暑かった」というのが実感ですね。土日とも、外に出るだけでドバツと汗が出てくるような状況。いつまで続くのでしょうか。NHKをつけて高校野球を見ると左に「高温注意報」と出て、上に次々と注意報が出る。ブルーの帯なのはいいのですが、その注意報が暑苦しいのと、その中でプレーしている高校生たちは「大丈夫だろうか」

とってしまう。

「熱い」と言えば、プロ野球のパリーグが熱い。今シーズンが始まる前に「楽天が優勝」と予想した専門家、評論家はいましたっけ。ところがぶっちぎりの6.5ゲーム差で2位を離して優勝にまっしぐら。3万人も入らない、言ってみれば「田舎球場」の域を出ない「Kスタ宮城」を「日本シリーズを控えて改装・増設してもっと人が入るようにする」計画が進行中だとか。このままの席数だと、「日本シリーズが減収になる」というのがその理由だと。

なぜ楽天がそんなに強くなったのか。星野効果？。確実に言えることは、田中効果ということでしょう。昨日までの58勝のうち16勝はマー君があげている。これは大きいでしょう。他の良い投手でも10勝を越えたところなのに、マー君はもう15勝を越えている。このままだと今年は20勝超えも確実のように見える。日本シリーズでもマー君が勝ち続けるのかどうか。ちょっと疲れがたまってきたようですが。

セリーグでジャイアンツが防御率、ホームラン数、打点などで図抜けているのが成績につながっているのと対比的に、楽天の実績は他のパリーグ・チームに比べて決して図抜けていない。打率も得失点差も防御率も他にもっと良いチームがいる。しかし今までずっと弱かったチームの変身は、リーグを盛り上げている。もしかして今年の日本シリーズは巨人対楽天。結構これは面白い。楽天は2勝は計算できる状態とも考えられる。あとは選手の自信が続くかどうかでしょうか。

それでは皆さんには良い一週間を。来週はこのニュースはお休みします。

《当「ニュース」は三井住友トラスト基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、三井住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したのですが、正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》